

[平成20年度設置]

上越教育大学大学院 学校教育研究科 教育実践高度化専攻（専門職学位課程）

**【教職大学院】設置に係る設置計画履行状況報告書**

国立大学法人 上越教育大学  
平成20年4月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部企画室

職名・氏名 企画室長・亀井宣幸

電話番号 025-521-3660

（夜間） 025-521-3660

F A X 025-521-3657

e-mail kicyosei@juen.ac.jp

## 目 次

1	調査対象大学院の概要等	1
2	授業科目の概要	6
3	施設・設備の整備状況	9
4	既設大学等の状況, 既存の教員養成分野における研究科等の状況	10
5	教員組織の概要	13
6	留意事項に対する履行状況等	22
7	情報提供に関する事項	24
資料1	上越教育大学大学院学校教育研究科専門職学位課程の実習科目により修得する単位の免除に関する取扱細則	

# 教職大学院設置に係る設置計画履行状況報告書

## 1 調査対象大学院の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人 上越教育大学

### (2) 大学名

上越教育大学 大学院

### (3) 大学院本部の位置

新潟県上越市山屋敷町1番地

### (4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	該当なし
学長	(ワタナベ タカシ) 渡邊 隆 (平成16年4月)		
研究科長	(ワタナベ タカシ) 渡邊 隆 (平成16年4月)		
専攻長		(コバヤシ タツシ) 小林 辰至 (平成20年4月)	⑳ 設置計画に基づき「上越教育大学教育研究組織規則(平成20年4月1日施行)」を整備し、大学院学校教育研究科の各専攻に専攻長をおくこととした。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) -① 調査対象研究科の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	認可時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
学校教育研究科	年	人	人	[教育実践リーダーコース] 教職に関わる精深な学識を授けるとともに、理論と実践の架橋・往還・融合を通して、子どもの経験の総体としてのカリキュラムを教室や学校で自らデザインできる「指導的立場から方向性を示す教員」と「即戦力となる新人教員」を養成することを目的とする。 【注】本コースの名称である教育実践とは、教科学習だけでなく、教科外学習をも含むものである。
教育実践高度化 専攻 (P) 教職修士(専門職)	2	50	100	
教育実践リーダー コース		(標準学生数) 30		[学校運営リーダーコース] 教職に関わる精深な学識を授けるとともに、理論と実践の架橋・往還・融合を通して、生き生きとした子どもの学びや教師の活動を実現する学校を自ら企画・運営していくことのできる「学校において指導的な役割を果たす教員」を養成することを目的とする。 【注】本コースの名称である学校運営リーダーとは、狭義に校長や教頭という学校経営リーダーを指すものではなく、教務主任や生徒指導主事などをはじめとする中核的中堅教員(ミドルリーダー)を指すものである。
学校運営リーダー コース		(標準学生数) 20		

(5) -②- (a) 調査対象研究科等の入学者の状況 (概要)

(教育実践リーダーコース)

対象年度 区分	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	人 30	人	0.86倍	
志願者数	33			
受験者数	33			
合格者数	32			
B 入学者数	26			
入学定員超過率 B/A	0.86			

(学校運営リーダーコース)

対象年度 区分	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	人 20	人	0.3倍	
志願者数	6			
受験者数	6			
合格者数	6			
B 入学者数	6			
入学定員超過率 B/A	0.3			

(5) -③- (a) 調査対象研究科等の在学者の状況 (概要)

(教育実践リーダーコース)

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	備考
1年次	26		
2年次			
計	26		

(学校運営リーダーコース)

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	備考
1年次	6		
2年次			
計	6		

(5) - ② - (b) 調査対象研究科等の入学者の状況 (学生の区分毎)

(教育実践リーダーコース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	新潟県 教育委員会	派遣制度		2	5		1	8	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		2	5		1	8	
	群馬県 教育委員会	派遣制度		1				1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		1				1	
	静岡県 教育委員会	派遣制度		1				1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		1				1	
	計	派遣制度		4	5		1	10	
修学休業制度									
勤務継続									
その他									
小 計			4	5		1	10		
学部 新卒者	教員免許 の有無	有	1	6	14	13	2	16	学部新卒者以外で、現職教員以外の者を含む。
		無						0	
		小 計	1	6	14	13	2	16	
合 計		1	10	19	13	3	26		

(学校運営リーダーコース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	新潟県 教育委員会	派遣制度		3		1	1	5	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		3		1	1	5	
	群馬県 教育委員会	派遣制度		1				1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		1				1	
	計	派遣制度		4		1	1	6	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		4		1	1	6	
	学部 新卒者	教員免許 の有無	有					0	
無							0		
小 計								0	
合 計			4		1	1	6		

(5) -③- (b) 調査対象研究科等の在学者の状況（学生の区分毎）

（教育実践リーダーコース：平成20年度入学者）

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	新潟県 教育委員会	派遣制度		2	5		1	8	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		2	5		1	8	
	群馬県 教育委員会	派遣制度		1				1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		1				1	
	静岡県 教育委員会	派遣制度		1				1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		1				1	
	計	派遣制度		4	5		1	10	
修学休業制度									
勤務継続									
その他									
小 計			4	5		1	10		
学部 新卒者	教員免許 の有無	有	1	6	14	13	2	16	学部新卒者以外で、現職教員以外の者を含む。
		無						0	
		小 計	1	6	14	13	2	16	
合 計		1	10	19	13	3	26		

（学校運営リーダーコース：平成20年度入学者）

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	新潟県 教育委員会	派遣制度		3		1	1	5	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		3		1	1	5	
	群馬県 教育委員会	派遣制度		1				1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		1				1	
	計	派遣制度		4		1	1	6	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		4		1	1	6	
	学部 新卒者	教員免許 の有無	有					0	
無							0		
小 計								0	
合 計			4		1	1	6		

## 2 授業科目の概要

### (1) 授業科目表

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数				授業形態			専任教員配置					備考	
			必修	選択	自由	自由	講義	演習	実験実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
臨床共通科目	① 教育課程の編成及び実施に関する領域 教育課程の編成・実施の 実践と課題	1	4					○		4	4					
	② 教科等の実践的な指導 方法に関する領域 教科等の実践的な指導方 法の実践と課題	1	4					○		2	4					
	③ 生徒指導及び教育相談 に関する領域 生徒指導、教育相談の実 践と課題	1	4					○		5	3					
	④ 学級経営及び学校経営 に関する領域 学級経営、学校経営の実 践と課題	1	4					○		4	4					
	⑤ 学校教育と教員の在り方 に関する領域 学校教育と教員の在り方 に関する事例研究	1	4					○		5	1					
コース別選択科目	<教育実践リーダーコース>															
	学校支援 プロジェクト 目	1	4					○		6	7					
	教育実践リフレクションⅠ	2	4					○		6	7					
	教育実践プレゼンテーショ ンⅠ	1	1					○		6	7					
	教育実践プレゼンテーショ ンⅡ	2	1					○		6	7					
	<学校運営リーダーコース>															
	学校運営リフレクションⅠ	1	4					○		5	3					
	学校運営リフレクションⅡ	2	4					○		5	3					
学校運営プレゼンテーショ ンⅠ	1	1					○		5	3						
学校運営プレゼンテーショ ンⅡ	2	1					○		5	3						
プロフェッショナル科目	<教育実践リーダーコース>															
	学び合いの授業論	1	2					○		1						
	学習デザイン論	1	2					○			1					
	教科内容・方法学特論	1	2					○		1						
	勇気づけの学級づくり論	1	2					○			1					
	道徳性の発達と支援	1	2					○		1						
	特別支援教育における授業 づくりの理論と実際	1	2					○								
	授業と学校の改善に向けた 教育調査の理論と実際	1	2					○			1					
	国語科授業のデザインと評 価	2	2					○		1						
	算数・数学科授業デザイン 論	1	2					○			1					
	教科の固有性を踏まえた算 数・数学科の学習指導の理 論と実際	2	2					○			1					
理科授業デザイン論	2	2					○			1						



	社会認識を深める授業づくりの実際と課題	2	2		○	1					
	生活科の教科特性とその存在意義	2	2		○		1				
	「子ども・芸術・学校」その実際と課題	2	2		○						
	身体教育学演習	2	2		○						
	小学校英語授業づくり論	2	2		○						
	<学校運営リーダーコース>										
	現代の教育改革とビジョン	1	2		○						
	学校文化改革の課題と視点	1	2		○		1				
	宗教と公教育	1	2		○	1					
	実践的 school 経営特論	2	2		○	1					
	学校経営の危機管理と実践的課題	2	2		○	1					
	学校経営と人権教育特論	1	2	○		1					
	校内の授業研究のシステム化と授業研究の方法	1	2	○							
	体で学ぶ一斉指導の基礎技法	2	2		○	1					
実 習 科 目	学校支援フィールドワーク I (ストレート)	1	5			○	9	7			
	学校支援フィールドワーク II (ストレート)	2	5			○	9	7			
	学校支援フィールドワーク I (現職)	1	3			○	9	7			
	学校支援フィールドワーク II (現職)	2	3			○	9	7			
	学校支援フィールドワーク I (特別)	1	2			○	9	7			
	学校支援フィールドワーク II (特別)	2	2			○	9	7			

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	38	0	43	5	38	0	43	
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・分野別・実習	必修・選択・自由	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・分野別・実習	必修・選択・自由	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし
----

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

### 3 施設・設備の整備状況

(山屋敷キャンパス)

区 分	認可時の計画	変更状況	備 考
<p><b>【施設】</b>            講義室            演習室            実験実習室</p> <p>その他教室            (専用講義室)            自習室            図書室</p> <p>パソコン室            教員研究室            語学学習室</p> <p><b>【設備】</b>            図書</p> <p>その他設備            ( )</p>	<p>22室 (1,649名収容)            54室            154室</p> <p>1室 (104名収容)            2室            【学生1人当たりの専有面積 1.46㎡】            座席数 176席</p> <p>5室 (135名収容、パソコン 72台)            16室 (16名収容)            3室 (114名収容)</p> <p>図書264,279冊【外国書46,661冊】            学術雑誌2,387種【外国雑誌261種】            電子ジャーナル7,306点【外国書5,324点】            視聴覚資料2,929点</p>		<p>学校教育学部            学校教育専攻            教科・領域教育専攻</p> <p>24時間</p> <p>平日 9時～22時            土・日・祝日 11時～17時</p> <p>平日 8時40分～20時45分</p>

#### 4- (1) 既設大学等の状況

大学の名称	上越教育大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
学校教育学部 初等教育教員養成課程	4	160	—	640	学士(教育学)	1.05	昭和56	新潟県上越市 山屋敷町1番地	
大学院学校教育研究科 (修士課程)								新潟県上越市 山屋敷町1番地	
学校教育専攻	2	120	—	240	修士(教育学)	1.08	昭和58		
幼児教育専攻	2	—	—	10	修士(教育学)	—	昭和59		平成20年度から学生募集停止
特別支援教育専攻	2	—	—	30	修士(教育学)	—	昭和59		平成20年度から学生募集停止
教科・領域教育専攻	2	130	—	270	修士(教育学)	0.89	昭和58		

#### 4- (2) 既存の教員養成分野における研究科等の状況

【大学院学校教育研究科(修士課程)学校教育専攻(M)】

(単位:人)

区 分		平成19年度	平成20年度	備 考	
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	53	40	
		修学休業制度	2	0	
		勤務継続	0	0	
		その他	0	0	
		小計(a)	55	40	
	学部新卒者(b)	47	81		
	社会人学生(c)	25	14		
	計(d=a+b+c)	127	135		
	入学定員(e)	120	120		
	定員超過率(d/e)	1.05	1.12		

【大学院学校教育研究科(修士課程)幼児教育専攻(M)】

(単位:人)

区 分		平成19年度	平成20年度	備 考	
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	0	—	平成20年度から学生募集停止
		修学休業制度	0	—	
		勤務継続	0	—	
		その他	0	—	
		小計(a)	0	—	
	学部新卒者(b)	1	—		
	社会人学生(c)	3	—		
	計(d=a+b+c)	4	—		
	入学定員(e)	10	—		
	定員超過率(d/e)	0.40	—		

## 【大学院学校教育研究科(修士課程)特別支援教育専攻(M)】

(単位:人)

区 分		平成19年度	平成20年度	備 考	
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	3	—	平成20年度から学生募集停止
		修学休業制度	2	—	
		勤務継続	0	—	
		その他	0	—	
		小計(a)	5	—	
	学部新卒者(b)	15	—		
	社会人学生(c)	6	—		
	計(d=a+b+c)	26	—		
	入学定員(e)	30	—		
	定員超過率(d/e)	0.86	—		

## 【大学院学校教育研究科(修士課程)教科・領域教育専攻(M)】

(単位:人)

区 分		平成19年度	平成20年度	備 考	
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	31	26	
		修学休業制度	1	2	
		勤務継続	0	0	
		その他	0	0	
		小計(a)	32	28	
	学部新卒者(b)	57	74		
	社会人学生(c)	32	18		
	計(d=a+b+c)	121	120		
	入学定員(e)	140	130		
	定員超過率(d/e)	0.86	0.92		

## 5 教員組織の概要

### (1) 教員組織・担当科目の状況

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任等の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任等の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	若井彌一	平成20年 4月	生徒指導、教育相談の実践と課題 学級経営、学校経営の実践と課題 学校教育と教員の在り方に関する事例研究 学校運営リフレクションⅠ 学校運営リフレクションⅡ 学校運営プレゼンテーションⅠ 学校運営プレゼンテーションⅡ 学校経営の危機管理と実践的課題 学校経営と人権教育特論 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)						①(前)14.13 (後)0 (集)750  ②(前)2 (後)4 (通年)2
専	教授	小林辰至	平成20年 4月	教育課程の編成・実施の実践と課題 生徒指導、教育相談の実践と課題 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ 教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 教科内容・方法学特論 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)						①(前)8.93 (後)0 (集)750  ②(前)0 (後)0 (通年)2
専	教授	西川 純	平成20年 4月	教育課程の編成・実施の実践と課題 教科等の実践的な指導方法の実践と課題 生徒指導、教育相談の実践と課題 学校教育と教員の在り方に関する事例研究 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ						①(前)14.8 (後)0 (集)900  ②(前)2.1 (後)0 (通年)2

				教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 学び合いの授業論 学校運営リフレクションⅠ 学校運営リフレクションⅡ 学校運営プレゼンテーションⅠ 学校運営プレゼンテーションⅡ 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)				
専	教授	松本 修	平成20年 4月	教育課程の編成・実施の実践と課題 教科等の実践的な指導方法の実践と課題 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ 教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 国語科授業のデザインと評価 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)				①(前)8.39 (後)0 (集)750 ②(前)2 (後)0 (通年)2
専	准教授	木村吉彦	平成20年 4月	教育課程の編成・実施の実践と課題 生徒指導、教育相談の実践と課題 学級経営、学校経営の実践と課題 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ 教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 生活科の教科特性とその存在意義 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)				①(前)11.6 (後)0 (集)750 ②(前)2 (後)3.6 (通年)2



<p>専</p>	<p>准教授</p>	<p>藤田武志</p>	<p>平成20年 4月</p>	<p>生徒指導、教育相談の実践と課題 学校教育と教員の在り方に関する事例研究 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ 教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 授業と学校の改善に向けた教育調査の理論と実際 学校運営リフレクションⅠ 学校運営リフレクションⅡ 学校運営プレゼンテーションⅠ 学校運営プレゼンテーションⅡ 学校文化改革の課題と視点 学校支援フィールドワークⅠ（ストレート） 学校支援フィールドワークⅡ（ストレート） 学校支援フィールドワークⅠ（現職） 学校支援フィールドワークⅡ（現職） 学校支援フィールドワークⅠ（特別） 学校支援フィールドワークⅡ（特別）</p>						<p>①(前)11.46 (後)0 (集)900 ②(前)1.4 (後)1 (通年)2 (集中)30</p>
<p>専</p>	<p>准教授</p>	<p>岩崎 浩</p>	<p>平成20年 4月</p>	<p>教育課程の編成・実施の実践と課題 教科等の実践的な指導方法の実践と課題 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ 教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 教科の固有性を踏まえた算数・数学科の学習指導の理論と実際 学校運営リフレクションⅠ 学校運営リフレクションⅡ 学校運営プレゼンテーションⅠ 学校運営プレゼンテーションⅡ 学校支援フィールドワークⅠ（ストレート） 学校支援フィールドワークⅡ（ストレート） 学校支援フィールドワークⅠ（現職） 学校支援フィールドワークⅡ（現職） 学校支援フィールドワークⅠ（特別） 学校支援フィールドワークⅡ（特別）</p>						<p>①(前)8.93 (後)0 (集)900 ②(前)0 (後)0 (通年)2</p>
<p>専・他</p>	<p>教授</p>	<p>朝倉啓爾</p>	<p>平成20年 4月</p>	<p>教育課程の編成・実施の実践と課題 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ 教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ</p>						<p>①(前)4.13 (後)0 (集)750 ②(前)2.8 (後)0.7 (通年)2</p>

				社会認識を深める授業づくりの 実際と課題 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)					
専・他	教授	林 泰成	平成20年 4月	生徒指導、教育相談の実践と課題 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ 教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 道徳性の発達と支援 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)					①(前)5.2 (後)0 (集)750 ②(前)6.9 (後)0 (通年)2
実・専	教授	武嶋俊行	平成20年 4月	学級経営、学校経営の実践と課題 学校教育と教員の在り方に関する事例研究 学校運営リフレクションⅠ 学校運営リフレクションⅡ 学校運営プレゼンテーションⅠ 学校運営プレゼンテーションⅡ 実践的学校経営特論 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)					①(前)8.93 (後)0 (集)750 ②(前)0 (後)0 (通年)0
実・専	教授	瀬戸 健	平成20年 4月	学級経営、学校経営の実践と課題 学校教育と教員の在り方に関する事例研究 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ 教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 学校運営リフレクションⅠ 学校運営リフレクションⅡ					①(前)8.93 (後)0 (集)900 ②(前)0 (後)0 (通年)0

				学校運営プレゼンテーションⅠ 学校運営プレゼンテーションⅡ 体で学ぶ一斉指導の基礎技法 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)				
実・専	教授	廣瀬裕一	平成20年 4月	生徒指導、教育相談の実践と課題 学級経営、学校経営の実践と課題 学校教育と教員の在り方に関する事例研究 学校運営リフレクションⅠ 学校運営リフレクションⅡ 学校運営プレゼンテーションⅠ 学校運営プレゼンテーションⅡ 宗教と公教育 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)				①(前)12.13 (後)0 (集)750 ②(前)0 (後)0 (通年)0
実・専	准教授	松沢要一	平成20年 4月	教科等の実践的な指導方法の実践と課題 学級経営、学校経営の実践と課題 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ 教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 算数・数学科授業デザイン論 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)				①(前)8.93 (後)0 (集)750 ②(前)0 (後)0 (通年)0
実・専	准教授	水落芳明	平成20年 4月	教育課程の編成・実施の実践と課題 教科等の実践的な指導方法の実践と課題 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ				①(前)8.93 (後)0 (集)900 ②(前)0 (後)0 (通年)0

				教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 学習デザイン論 学校運営リフレクションⅠ 学校運営リフレクションⅡ 学校運営プレゼンテーションⅠ 学校運営プレゼンテーションⅡ 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)				
実・専	准教授	赤坂真二	平成20年 4月	生徒指導、教育相談の実践と課題 学級経営、学校経営の実践と課題 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ 教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 勇気づけの学級づくり論 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)				①(前)9.46 (後)0 (集)750 ②(前)0 (後)0 (通年)0
実・専	准教授	久保田善彦	平成20年 4月	教育課程の編成・実施の実践と課題 教科等の実践的な指導方法の実践と課題 学級経営、学校経営の実践と課題 教育実践リフレクションⅠ 教育実践リフレクションⅡ 教育実践プレゼンテーションⅠ 教育実践プレゼンテーションⅡ 理科授業デザイン論 学校支援フィールドワークⅠ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅡ (ストレート) 学校支援フィールドワークⅠ (現職) 学校支援フィールドワークⅡ (現職) 学校支援フィールドワークⅠ (特別) 学校支援フィールドワークⅡ (特別)				①(前)12.13 (後)0 (集)750 ②(前)4 (後)2 (通年)2

兼担	教授	峯岸 創	平成20年4月	「子ども・芸術・学校」その実際と課題						
兼担	教授	増井三夫	平成20年4月	校内の授業研究のシステム化と授業研究の方法						
兼担	教授	加藤泰樹	平成20年4月	身体教育学演習						
兼担	教授	西村俊夫	平成20年4月	「子ども・芸術・学校」その実際と課題						
兼担	教授	川村知行	平成20年4月	社会認識を深める授業づくりの実際と課題						
兼担	教授	荻原克男	平成20年4月	現代の教育改革とビジョン						
兼担	准教授	石濱博之	平成20年4月	小学校英語授業づくり論						
兼担	准教授	阿部靖子	平成20年4月	「子ども・芸術・学校」その実際と課題	兼担	教授	阿部靖子	平成20年4月	「子ども・芸術・学校」その実際と課題	㊿平成20年4月1日付け昇任
兼担	准教授	高石次郎	平成20年4月	「子ども・芸術・学校」その実際と課題						
兼担	准教授	釜田 聡	平成20年4月	社会認識を深める授業づくりの実際と課題						
兼担	准教授	阿部亮太郎	平成20年4月	「子ども・芸術・学校」その実際と課題						
兼担	准教授	安藤知子	平成20年4月	現代の教育改革とビジョン						
兼担	講師	大橋奈希左	平成20年4月	身体教育学演習						
兼担	講師	迎 勝彦	平成20年4月	国語科授業のデザインと評価	兼担	准教授	迎 勝彦	平成20年4月	国語科授業のデザインと評価	㊿平成20年1月1日付け昇任
兼担	講師	周東和好	平成20年4月	身体教育学演習						
兼担	講師	村中智彦	平成20年4月	特別支援教育における授業づくりの理論と実際						

(2) 科目別教員数一覧

区分	職名	科目分類								合計	備考
		臨床共通科目					コース別選択科目	実習科目			
		①教育課程の編成及び実施に関する領域	②教科等の実践的な指導方法に関する領域	③生徒指導及び教育相談に関する領域	④学級経営及び学校経営に関する領域	⑤学校教育と教員の在り方に関する領域			小計		
専	教授	(3) 3	(2) 2	(3) 3	(1) 1	(2) 2	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	
	准教授	(2) 2	(1) 1	(2) 2	(1) 1	(1) 1	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3) 3	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
専・他	教授	(1) 1	( )	(1) 1	( )	( )	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	
	准教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
実・専	教授	( )	( )	(1) 1	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3) 3	
	准教授	(2) 2	(3) 3	(1) 1	(3) 3	( )	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
実・み	教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	准教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
兼任	教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(6) 7	( )	(6) 7	平成20年1月1日付け講師から准教授に昇任1名 平成20年4月1日付け准教授から教授に昇任1名
	准教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(6) 6	( )	(6) 6	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(4) 3	( )	(4) 3	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
兼任	教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	准教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
合計	教授	(4) 4	(2) 2	(5) 5	(4) 4	(5) 5	(9) 9	(15) 16	(9) 9	(15) 16	
	准教授	(4) 4	(4) 4	(3) 3	(4) 4	(1) 1	(7) 7	(13) 13	(7) 7	(13) 13	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(4) 3	( )	(4) 3	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退等含む）等の理由
1	該当なし		
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認可時 (平成19年12月3日)</p>	<p>○ 設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。 また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、さらに理論と実践を融合して専ら小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び幼稚園の高度の専門的な能力及び優れた資質を有する教員の養成のための教育を実施するという教職大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>○ 実習期間の認定については、連携協力校と密接に連携して、学生ごとに対応できるよう配慮すること。</p> <p>○ 実習を免除する際に提出させる「実践研究業績」を厳正に評価するとともに、免除の判定方法及び判定する組織・体制を明確にすること。 なお、評価にあたっては、所属長や任命権者が評価する資料を活用するなど、客観性が担保されるよう配慮すること。</p>	<p>⑳ 設置計画に沿った教員配置、カリキュラム等により開設している。 今後、自己点検・評価、学生による授業評価、外部評価、修了生等からの意見の聴取・評価などにより教育研究活動の向上に務める。</p> <p>⑳ 学校支援プロジェクトのテーマや実習生受入校（連携協力校等）の実態に応じ、1ヶ月以上連続して活動する場合「集中型」や、週1～2日を数ヶ月にわたって活動する場合「分散型」を基本とし、次の方法により配慮する。 ○ 4月：オリエンテーション（学校支援プロジェクトの趣旨、運営方法の説明） ○ 5月：関心のある支援活動を選択。 ○ 6月：支援チーム（実習担当教員1名、大学院学生2～5名）の決定。 ○ 7月：支援チームごとに学校訪問し、実態や具体的課題の把握。 ○ 8月から9月：支援チームごとに学校との連絡調整をしながら支援内容の打ち合わせ。</p> <p>⑳ 免除の判定方法等は、次により行う。 【資料1】参照 ○ 判定方法・判定体制：免除希望者が提出した「教育実践に係る書類」を、教育実習委員会学校支援プロジェクト専門部会が審査を行い、教務委員会及び教授会の議を経て、学長が認定。 ○ 実習免除の基準：臨床力が備わっているか否かを判定。 ○ 申請書類：「修得単位免除許可申請書」に、次に掲げる教育実践に係る書類5本以上を添付。 (1) 発表資料が掲載されている学校の研究紀要 (2) 研究会・学会等での発表資料 (3) その他上記に掲げる資料と同等の資料</p>	



設置計画履行状況 調 査 時 (平成20年4月20日)			
設置計画履行状況 調 査 時 (○年○月○日)			

## 7 情報提供に関する事項

### ① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成20年 7月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.juen.ac.jp/contents/info/admindoc/index.html>)

### ② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成20年 7月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.juen.ac.jp/contents/info/admindoc/index.html>)